

2023年度 事業報告

A. 組織運営

① 校友会発足10周年記念事業企画推進及び実施

以下の10周年事業を行った。

- ・森山良子ディナーショーを9月9日(土)にセルリアンタワー東急ホテルで参加者377名により実施した。
- ・「校友会10年のあゆみ」(パンフレット)を作成し、ディナーショーで配付。それ以後の支部総会でも配付した。
- ・タイアップ企画と題して、地方支部、学科同窓会、クラブ同窓会、RINGプロジェクト、校友会館が各記念事業を企画し、20件実施した。
- ・「全国縦断支部紹介」と題して、地方支部の紹介動画を作成し、校友会ホームページで視聴できるようにした。(完成33支部)
- ・地域ブロックと本部共催ゴルフ大会を7地域ブロック毎に実施した。

② 大学創立100周年事業企画検討

大学創立100周年事業について、大学と協調して検討していく予定

③ 総会・幹事会・常任幹事会・各委員会・付置部会の実施(継続)

5月に定期総会、3月に幹事会実施、常任幹事会11回、執行役員会11回、各委員会・部会を30回実施した。

④ 「校友会のあり方検討会」を会長諮問機関として継続実施

12月16日(土)に「校友会会館のあり方検討会」を実施した。

⑤ 「年間実施スケジュール」の提示・情報共有(継続)

スケジュールが五月雨式に決まっていたため、ホームページへの掲載に至らなかった。

⑥ 「維持会費募集」(継続)

郵便振り込み、ネットバンキングの他、定期総会、地方支部総会等で納入頂き、前年度を上回り5,142,630円となった。

B. 広報活動

① 都市大校友会オンラインの活用

各イベントの周知について都市大校友会オンラインを駆使して行っている。

② 「校友会ホームページ」(SNS等)活用整備・活用拡充

ホームページ及び付随するフェイスブックを随時更新している。

③ 校友会データサーバの活用整備・活用拡充

委員会資料等データの共有化について検討中。

④ 「講演会・セミナー・親睦行事等」の広報活動の推進(ホームページ及びSNS等による。)

各イベントについてホームページに掲載、SNSによる多角的周知について検討している。

⑤ 校友会会報「都市」第11号の発行、会報のデジタル化(アーカイブを含む)の実施

校友会会報「都市」第11号(校友会10周年特集ページ組み込み)を作成し、学位授与式当日新会員へ配付し、4月上旬に正会員へ配付した。また、ホームページにデジタルブックを掲載し、在学生が閲覧できるサイトにも掲載した。

C. 在学生・母校支援活動

1. 大学との連携事業

① 定例連絡・協議会の開催

随時必要に応じ、大学側と協議を行っている。

② 連携事業の検討・立案・実施

大学事業のリカレントプログラムに協力し、卒業生の受講修了者に対して、1科目2万円を校友会が補助することとした。

③ 人生100年時代～生涯キャリアサポートプログラムの実施

- ・5月27日(土)にワークショップ「人生100年時代のマネープラン」(講師:奥村彰太郎氏)をオンラインにより実施した。
- ・1月27日(土)に講演会「幸せなキャリアを創る! 学び戦略」(講師:前川孝雄氏)をオンラインにより実施した。
- ・個別キャリアカウンセリングを行う準備を整えた。

2. 在学生の支援活動

① 就職支援:「卒業生による進路相談会」の実施

11月29日(水)及び12月6日(水)に対面で実施した(企業側は卒業生のみ)。参加学生延べ233名、参加企業85社

② インターンシップ派遣先企業の紹介・提示

企業の卒業生にインターシップの受け入れをお願いし、大学へ情報提供を行っている。

③ 「学科研究会」及び「学生団体連合会」との連携・支援

学科同窓会が学科研究会と連携して実施する事業に対して支援を行っている。

3. 大学事業等への支援

① 博士課程進学者への支援

2023年度の支援を見送った。次年度に向け大学と協議中。

② 「緊急奨学金」の貸与(継続)

卒業が確実で就職内定しているが家計困難で後期授業料が納入できない4年次対象とした奨学金。2023年度申請無し。

D. 同窓会活動支援

1. 学科同窓会の活動支援・連携

学科同窓会活動に対して助成を行った。

2. クラブ・同好会の活動支援・連携

①クラブ・同好会のOB・OG会活動支援・連携

クラブ・同好会の会合を行うための通知宛名ラベルの作成等、支援を行っている。

②OB・OG会と連携してのクラブ・同好会の学生活動支援

OB/OG会と連携してのクラブ・同好会の学生活動支援の方法について、呼びかけ参加してくれたOB/OG会に対してヒアリングを行った。

3. 地方支部活動の支援・連携

① 地方支部活性化支援

全地方支部へ役員会運営費として3万円を6月に送金し、事業を行った支部からの支援申請を9月、11月、3月に受け付け、支部委員会で審議のうえ、助成を行った。また、2022年度と2023年度は10周年特別支援として、地方支部総会懇親会出席者一人当たり、3,000円を補助した。

② 地方支部間の相互親睦推進

2023年度、各支部総会が実施されるようになり、支部間の交流が行われるようになった。

③ 就職活動支援依頼(地元企業と保護者との関係強化)

9月に開催された「保証人対象大学との連絡会」(15会場)において各地方支部へ出席をお願いし、地元企業の紹介など就職活動支援の一環とした。

④ 受験生への母校紹介依頼

各地方支部へ受験生への母校紹介をお願いしている。

⑤ 海外インターンシップ派遣先企業の紹介/提示

職場支部を通じて、また進路相談会の場等で企業に対して海外インターンシップ受け入れのお願いを行なっている。

⑥ 海外支部の立ち上げ推進

米国支部に続き、海外支部の立ち上げの可能性について調べている。

4. 職場支部活動の支援・連携

① 職場支部との連携促進

職場支部長会を12月15日(金)に開催し、職場支部とのコミュニケーションを図った。

② 職場支部発足応援

職場支部立ち上げの声掛けを行い、具体的に1支部が2023年度発足に至った。

5. 学内支部活動の支援・連携

学内支部の活動は停滞している。

E. 会員交流

1. 校友会イベント

① 講演会・懇親会・賀詞交歓会等の開催

2023年度定期総会当日に校友会10周年記念として、「星のかけらを取りにくく:はやぶさ2の技術とマネジメント」と題してJAXA宇宙飛翔工学系教授・はやぶさ2プロジェクトマネージャー津田雄一氏の講演会を実施した(聴講者191名)。また、2024年1月24日(水)に4年振りの校友会賀詞交歓会を実施した。

② 親睦行事・相互交流会・セミナー等の企画・開催(地方支部との合同開催含む)

2023年度は、10周年事業の実施を優先させた。

③ 「校友会功労者表彰」の継続実施

総会後に校友会功労者6名を表彰し、叙勲受章者4名の慶祝を行った。

2. 母校行事への参画と連携

① 世田谷・横浜各キャンパス「ホームカミングデー」の共催

11月4日(土)世田谷祭に合わせて世田谷キャンパスでホームカミングデーを対面方式で実施した。(参加者230名)。また、9月17日(日)に横浜祭に合わせて横浜キャンパスホームカミングデーを対面方式で行った(参加者101名)。

② 世田谷・横浜各キャンパス「学園祭」参加支援

参加支援は行わなかった。

③ 学位授与式:「校友会賞」の授与、学位記フォルダーの贈呈、ガーデンパーティの共催

<校友会賞> 学術優秀で将来社会での活躍が期待される者を対象に各学科各1名、計17名に校友会賞を授与した。
<学位記ホルダー贈呈> 2023年度卒業生・修了生全員に学位記ホルダーを進呈した。
<学位授与式後の卒業パーティ> 4年振りに大学と共催で実施した。

3. 「東京都市大学校友会館・自由が丘クラブ」の運営参画

① 自由が丘クラブとの協業による事業運営の実施

校友会常任幹事、幹事が役員として会館運営に参画し、運営を協業実施した。

F. その他

① 能登半島地震の会員被災者への支援

2024年5月の定期総会開催時にお見舞金の募金を行うこととした。